

2010年4月30日

生活協同組合連合会コープネット事業連合

**佐渡トキ保護活動を目的として、寄付募金や相互交流を拡大
新潟県佐渡市とコープネット事業連合、コープにいがたが協定を締結**

関東信越の8生協が加盟するコープネット事業連合とコープにいがた、新潟県佐渡市は、佐渡トキ保護活動を目的とした連携協定を締結しました。



また、この協定に基づいて、コープネット事業連合、佐渡市、JA佐渡、JA全農にいがた、全農パールライス東日本、日本生活協同組合連合会の6団体は、佐渡市トキ環境整備基金への寄付に関する覚書を締結しました。





調印式終了後に行われた記念田植えと記念看板の除幕

1994年から、「CO・OP（コープ）新潟佐渡コシヒカリ」を会員生協のコープとうきょうで販売を開始しコープデリ宅配を中心に販売しています。佐渡で生産されるコシヒカリの約10分の1が「CO・OP 新潟佐渡コシヒカリ」として、当事業連合を通じて組合員に届けられています。

また、当事業連合の会員生協組合員が参加して、佐渡市への産地見学や田植え、田んぼの生きもの調査などの体験交流を進めてきました。



JA佐渡のカントリーエレベーター。佐渡産の米の約10分の1はコープネットに出荷

このような経緯と、当事業連合では、近年、食料自給率向上への取り組みや産地支援など日本農業の活性化に貢献する活動に注力していることから、佐渡市がトキを育む環境に優しい農業を進めようと、島をあげて「生きものを育む（生物多様性）農業」を積極的に進められていることを応援する目的で、今回協定を締結することとなりました。

当事業連合では、「コープネット・佐渡トキ応援プロジェクト」を立ち上げ、様々な応援活動を実施していきます。

●「佐渡トキ保護活動」を目的とした連携内容

- ・ 佐渡市が推進する「佐渡トキ保護活動」の取り組みに連携・協力を行い、その活動の発展・拡充を目指します。
- ・ 「CO・OP 新潟佐渡コシヒカリ」の販売を通して、生物多様性の大切さを社会に浸透させる取り組みを推進します。
- ・ 相互理解を深めるために、組合員等の産地視察および交流を推進します。

●「コープネット・佐渡トキ応援プロジェクト」の概要

「CO・OP 新潟佐渡コシヒカリ」の販売を通じた佐渡市トキ環境整備基金への寄付について

当事業連合の会員生協の店舗と宅配サービスで販売する「CO・OP 新潟佐渡コシヒカリ」を対象に、販売したお米1kgにつき1円を「佐渡市トキ環境整備基金」に寄付します。今年度の対象期間は、2010年5月～2010年12月で140万円程度の募金金額を想定しています。

寄付対象商品



CO・OP 新潟佐渡コシヒカリ
※写真の5kgのほか2kgもあります



CO・OP 新潟佐渡コシヒカリ (無洗米)
※写真の5kgのほか2kgもあります